

# 乙 頁

第146号 通巻26巻 第1号

2006年5月1日 発行

守山市立埋蔵文化財センター

Tel・Fax 077-585-4397

〒 524-0212

守山市服部町2250番地

新年度を迎え、埋蔵文化財センターでは、発掘調査の準備や歴史入門講座など普及啓発事業の準備に追われています。発掘調査も連休明けから一斉にスタートする予定で、次号からは詳細な調査成果がお伝えできると思います。

## 調 査 中

### 欲賀遺跡の調査

区画整理工事に伴う<sup>ほしか</sup>欲賀遺跡の調査は、4月末から再開しています。現在、3月に現地説明会を行った地点の北東側隣接地を調査しています。これまで、穴底に礎石<sup>そせど</sup>を据えた柱穴など中世の遺構が多く見つかっており、さらに集落が広がることがわかってきました。5月には調査も本格化する予定です。

正面

右側側面

左側側面

背面



▲銅造十一面観音立像（欲賀南遺跡）

※写真はほぼ原寸大

さて、前号で報告した欲賀南遺跡出土の銅造十一面観音立像について、もう少し詳しく報告します。平安時代後期～鎌倉時代初期頃の作とみられるこの像は、総高9.6cm、重量126.96gの小型の仏像です。頭上には宝冠台と化仏が表現され、垂髪とみられるものが肩先にのびています。左手には水瓶を持ち、右手は垂下しています。背をやや後ろに反らせ、両足をそろえて台座の上に立っています。肩から上には天衣（一種の肩掛けのようなもの）が表現されています。さらに背中には突起がみられ、光背がつけられていた可能性があります。表面には緑青がふいていますが、比較的残存状態は良好であるといえます。こうした金属製の小型仏像を小金銅仏といい、全国では寺跡や経塚などの遺跡から200点あまりの出土が報告されていますが、十一面観音の出土は珍しいようです。

【参考文献】

1. 『甦る光彩—関東の出土金銅仏—』 埼玉県立博物館 平成5年
2. 加島勝「出土の小金銅仏」『季刊考古学 34号』 雄山閣 平成3年
3. 佐藤知範『図解仏像の見方』 西東社 平成6年

十一面観音や千手観音など、たくさんの顔や手を持つ変化観音は、ヒンドゥー教のシヴァ神の影響を受けて生まれたといわれます。日本では、十一面観音が奈良時代中頃から信仰されていたようで、平安時代になると圧倒的な支持を得ました。平安時代後期に千手観音が登場するまで、日本の観音信仰を独占していたといわれます。

歴史の中で、重要な位置を占めてきた近江には数多くの仏教美術が残されています。初夏のこの季節、各地の寺社や博物館に出かけて、見学されてはいかがでしょうか。（小島）



佐藤知範『図解仏像の見方』西東社より

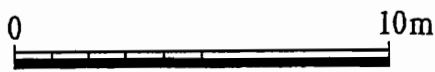
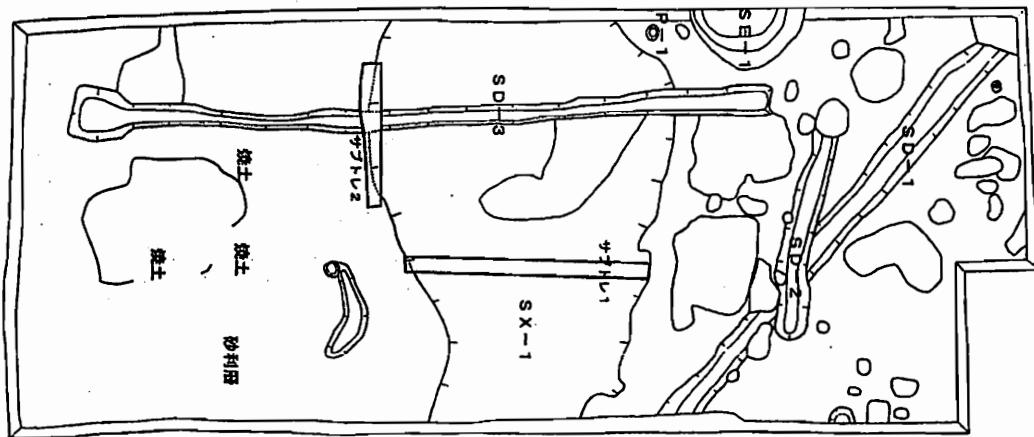
十一面観音

十一面観音は異なる表情の十一の化仏が十方すべての空間にいる人々を救うとされる仏です。正面に仏の慈悲を示す菩薩面。左に怒りの面である瞋怒面、右に狗牙上出面があり、左右の面はあらゆる仏敵に対する怒り、障害を取り除く力を表しています。後ろには最も邪悪なものに対し、最高の力を発揮するといわれる暴悪大笑面。さらに頂上に阿弥陀如来をあらわす化仏がのっています。

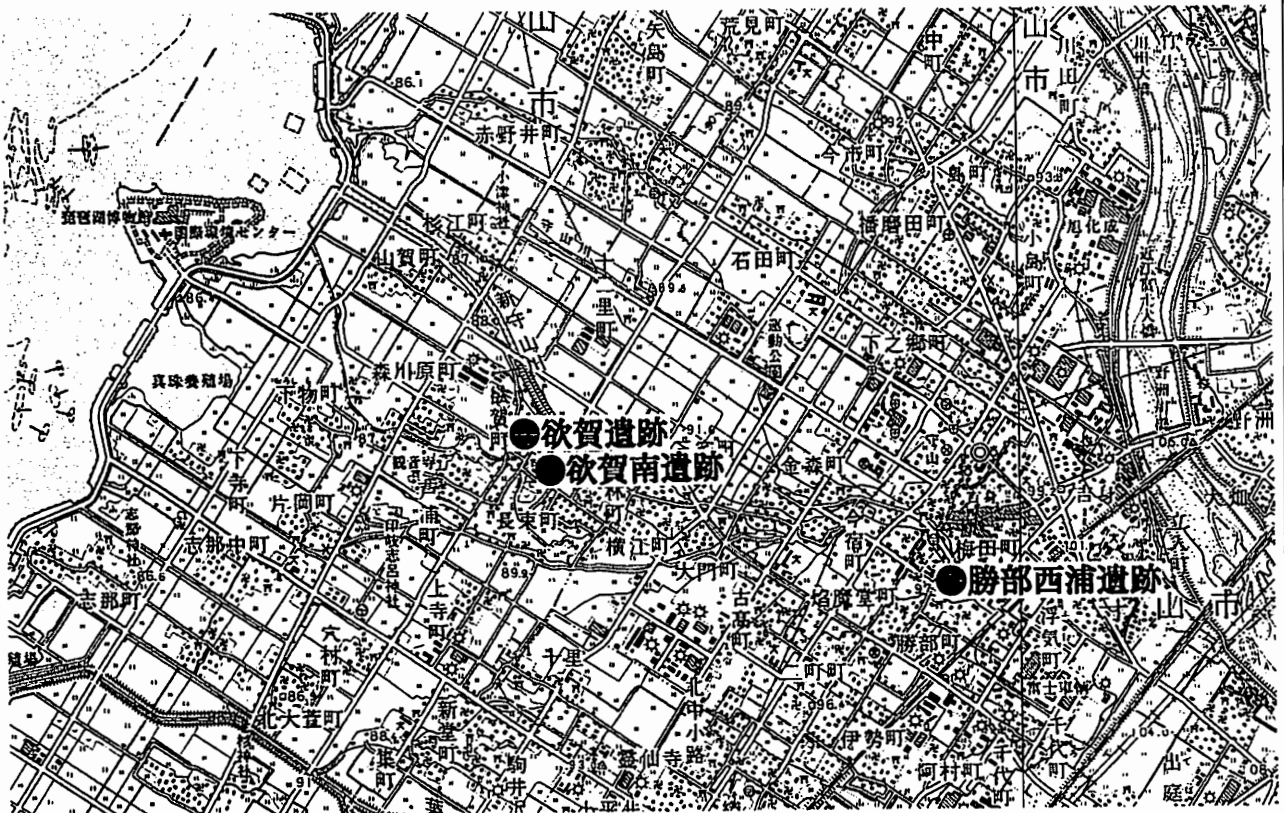
# 調査終了

## 勝部西浦遺跡 2次調査

共同住宅建築に伴い、勝部町地先において調査を実施しました。調査の結果、表土から約40cm～60cm下で鎌倉時代から室町時代にかけての溝、土坑、井戸などを検出しました。平成13年に実施した南側隣接地の調査でも中世の遺構が見つかっており、一帯にこの時期の集落跡が広がっていることがわかりました。(畑本)



▲ 勝部西浦遺跡 2次調査遺構平面図



▲ 調査位置図

## 埋蔵文化財センター友の会 会員募集のお知らせ

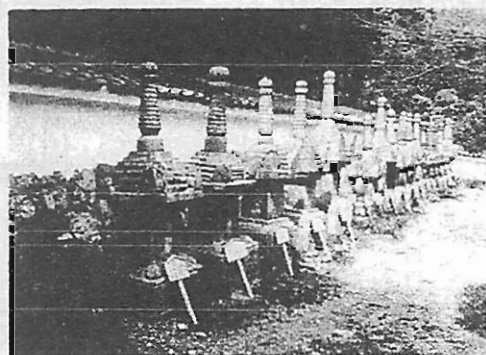
市立埋蔵文化財センター友の会は、身近な歴史や埋蔵文化財に興味をもつ方々の集まりです。地域の歴史や埋蔵文化財への理解を深めるため、県内外の博物館や遺跡見学会などの活動のほか、関連情報の提供も行っております。歴史や考古学、また郷土の文化財について興味のある方、この機会にぜひご入会下さい。

記

☆年会費 2,000円

☆昨年度の主な活動

- 第1回見学会（県内） 安土城考古博物館、  
猪子山古墳群
- 第2回見学会（県内） 上平寺館跡、番場宿蓮華寺、  
清滝寺徳源院（京極氏墓所）
- 第3回見学会（県内） 多賀町立文化財センター、  
胡宮神社、先人を偲ぶ館、  
伊藤忠兵衛記念館、豊会館、  
千樹寺
- 第4回見学会（市内） 諏訪屋敷、小津神社、蓮生寺
- 第5回見学会（県外）  
【愛知・岐阜方面】 尾西歴史民俗資料館、  
各務原市埋蔵文化財センター
- 第6回見学会（県内） 長浜城歴史博物館、時遊館、  
五先賢の館、虎姫町生きがい  
センター（五村遺跡の講演）



▲京極家墓所



▲長浜城歴史博物館

☆今年度の主な活動予定

年間6回の見学会

※第1回見学会は5月28日（日）に、安土城考古博物館の企画展「吾、天下を佐治す」や観音正寺、近江八幡市立図書館での八幡山城の展示を見学する予定です。

☆その他特典 各種催物の案内、埋蔵文化財センター機関紙「乙貞」の送付

お申し込み・お問い合わせは守山市立埋蔵文化財センターまで

電話・ファックス 077-585-4397